

共につくる喜び

代田中学校
令和5年11月

合唱コンクール



10月25日（水）、合唱コンクールを開催しました。
私は合唱コンクールまで、いろいろなクラスの練習を音楽室や体育館に見に行きました。はじめのうちは、それぞれのパートの音が少しずつずれていて、歌っている人たちも「なんだか違うな」と自信なさそうな顔をしていました。



10月17日（火）に行われた校内リハーサルでは、全クラスの合唱を聞きました。音楽室で聞いたときより格段に上手になっていました。それでも、ところどころ音があやしいところがあり、まだまだ気持ちも入っていない感じがしました。



いよいよ合唱コンクール間近というときになって、インフルエンザが流行し、いろいろなクラスで欠席者が出てきました。3年2組は、コンクールを見ることもできず、早帰りとなりました。気持ちを入れて練習していたのを見てただけに、本当に残念だったろうと思いました。3年生は、この日は発表会となりました。1年生でも、本当に少ない人数で頑張らなければならないクラスがありました。今までにない合唱コンクールとなってしまいましたが、どのクラスの歌声も、聞いている人の心を動かすような素晴らしいものとなってました。



合唱コンクールでは、私は次のような話をしました。

いよいよ合唱コンクールが始まります。

私は、この合唱コンクールを大事な行事だと考えています。合唱コンクールを迎えるまでには、さまざまな思いがぶつかり、いろいろなことが起きるからです。

「合唱なんて、社会に出て役立たない、なんでやるんだろう」と考えた人もいるでしょう。「将来、歌手になるわけではないし、合唱を趣味にするわけではないし、大体、歌なんて嫌い。みんなで歌って何の意味があるんだろう」そんな思いをもっている人もいます。

しかし、得意とか、好きとか、ためになるとか、役に立つとか、やる気があるとかないとか、そういうことを越えて、みんなと力を合わせて、心を合わせて一つのものでつくりあげる、課題を乗り越えるという経験をすることに意味があると私は思っています。

この合唱コンクールをととして、自分と正面から向き合い、さまざまなことを思ったり考えたりした人もいることでしょう。それも大事な経験です。

3年生の皆さん、今日は発表会となってしまいました。皆さんが、今まで頑張ってきたことを見てただけに、本当に残念でなりません。1組、3組、4組の皆さん、今日ない2組の分も、どうか、あなたたちの精いっぱい歌声を1、2年生に聞かせてください。代中の3年生の力を見せつけてください。

11月1日(水)、3年生は体育館で合唱コンクールを開催しました。十分練習ができない中でのコンクールとなりましたが、熱い気持ちで伝わってくるすばらしい歌声でした。「さすが3年生」と思わせる合唱でした。

